

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

市岡小	学校	児童数	64
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	◎17.35	◎20.59	◎35.85	◎44.04	◎49.19	◎9.36	◎152.41	◎25.12	◎56.3
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	◎16.78	◎19.43	○38.11	◎38.76	▼31.42	◎9.55	▼132.46	◎14.34	◎54.65
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

◎:全国・大阪市平均ともに上回っている ○:全国・大阪市平均のどちらかを上回っている
▽全国・大阪市平均のどちらかが下回っている ▼全国・大阪市平均ともに下回っている

結果の概要

まず本年度の体力テストについて、男子は体力合計点を含む全種目において大阪市及び全国平均を上回る結果となり、女子は体力合計点を含む6種目において両方の平均またはどちらかの平均を上回る結果となった。次に児童質問紙における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に対する肯定的な回答（好き・やや好き）について、男子は77.8%で大阪市及び全国平均より15ポイントほど低い結果となったが、女子は86.5%で両方の平均とほぼ同じ結果となった。また1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合について、男子は24.0%で大阪市及び全国平均より10ポイント以上多い結果となったが、女子は15.1%で両方の平均より1～3ポイント程度少ない結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校において、令和4年度から約3年間、講堂新築工事に伴って運動場の使用が制限されていたので、体育科学習はもちろんのこと、休み時間も学年で1日1回だけの使用となっていた。そのため、ここ数年の体力テストの結果が大阪市平均や全国平均より大きく下回っていた。しかし本年度については、地域のスポーツクラブに所属している児童が男女ともに多く、特に野球やソフトボール、キックベースボールやドッジボールに所属している児童が大半なので、「走」だけでなく「投」の種目でも両平均を大きく上回る結果となった。

ただし、児童質問紙における「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」や「体育の授業は楽しいですか」の項目に関する肯定的な回答（好き（楽しい）・やや好き（やや楽しい））について、女子は両平均と同等の回答だったが、男子はどちらも15ポイント程度低く、二極化が顕著に表れていた。

次年度は、年度当初から新しい講堂や広くなった運動場を使用することができるので、日常の体育科学習だけでなく、休み時間に児童が楽しく運動に取り組めるよう、見える場所に「運動ヒントカード」を掲示（例えば鉄棒の近くに技の紹介表を貼る）したり、スポーツ集会として季節に応じた運動（なわとびや駆け足）を実施したりして、普段から体を動かす楽しさや爽快感を味わえるような取組を取り入れていく。また地域との連携をさらに積極的に図り、土日のスポーツイベントの実施や地域スポーツクラブへの勧誘を進め、1週間の総運動時間が60分を超える児童を増やしていく。

